



さらに 医療費4兆円削減なんて考えられない！ 地域公共交通を確保してほしい！子育て・教育施設を奪わないで！

薬の保険外しはアカン！

「今でも大変なのに、国の医療費を4兆円も削減しようとしている今の政治は恐ろしい」という訴えの内容、医師が処方する保険がきく薬を保険適用外にしようとしていることは大問題です。

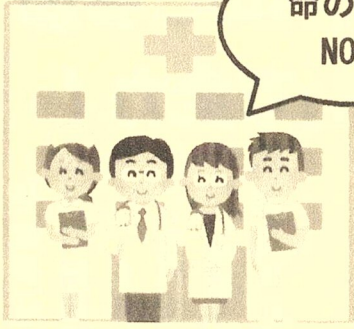
自民党と与党になった日本維新の会は、OTC類似薬を保険給付から外す28有効成分を示していますが、アレルギー性疾患の治療薬や痛み止めのロキソニン、皮膚保湿剤など身近な処方薬が市販薬になれば、その費用負担は大きくなります。医師の処方が必要としないのですから、自己責任での利用となり、薬害や重症化をもたらす恐れもあります。

医師の処方という医療行為の否定にもつながります。

川西市でも市民の皆さんと運動を進めてきた子どもの医療費無償化の対象から、この薬代が適用外になり、自己負担が増えます。

子どもから高齢者まで負担が増える薬の保険外しは、全国的にも反対する声があがってきています。連帯して声をあげていきたいものです。

命の格差 NO!



(4月17日開催の社会保障改革に関する自民党・公明党・日本維新の会の3党協議)

総合医療センターは黒字だが

全国的に公立病院の約8割が赤字だと言われている中、市立総合医療センターは黒字会計となっています。

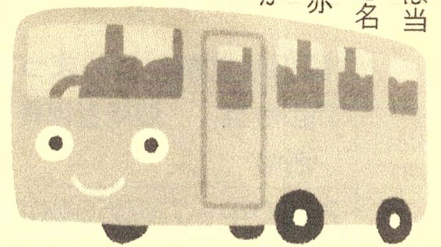
国は、まだベッド削減や公立病院の統廃合を進めています。住民にとって、身近に病院があることが安心・安全につながるのには当然です。患者負担の入院・外来単価が上がっていくことを目的にされています。命の砦として、公立病院の役割を果たすことこそ必須にすべきです。

市北部の二次救急空白地が拡大、交通費の負担が増え、時間的にも大きな負担となっている今、消防署統廃合の影響(緊急車両到着)が懸念されるのは当然のこと。市民からの要望で、北部での救急医療の確保、総合医療センターへの交通網確保の要望が根強く残っています。川西能勢口から総合医療センターまで無料バスが運行されているのですから、他の地域からも交通手段の確保、費用負担軽減への支援を行うべきです。

移動することへの保障を

どの地域でも聴こえてくる声が、バス減便への対策や運賃値上げの負担軽減について、タクシー事業者の撤退後の不安など、日常

生活での心配は当然です。公共と名がつくものは、赤字だから仕方がない、人口減少だから、やむを得ないのではなく、それぞれの地域に見合った持続可能な地域公共交通手段の構築こそ必要です。



ごみの有料化やめる！

家庭・一般ごみ袋有料化の動きは、先送りとなっていますが、きつぱり有料化をやめるべきという声があること、ごみ当番が大変、戸別収集を行ってほしいという声が聴こえてくるのも当然でしょう。できる

処からでも進めてほしいものです。全国的に火災や爆発が問題になっている蓄電池ですが、新年度から収集運搬がはじまります。

保育・教育・子育て拠点必要

地域で顔が見える子育てを行うために、保育所や幼稚園、小中学校が、通える範囲にあること。

子ども達が小さい頃から、地域で育ち、次のまちづくりの担い手になつてくれる過程を大切にす地域作り、将来を見通した取り組みが必要です。

働く保護者が増えているのですから、保育所定員を増やすこと、教育・保育への保護者の経済的負担を減らすこと、公立の役割・責

兵庫県の順位(47都道府県中)

| | |
|-----------|-----|
| 財政力指数 | 10位 |
| 教育費 | 46位 |
| 高校数 | 38位 |
| 図書館数 | 43位 |
| 介護老人福祉施設数 | 40位 |
| 保健師数 | 41位 |

出典 統計でみる都道府県の姿2025

務を果たすべきです。「何でもかんでも民営化はおかしい」という声が上がってくるのも必然です。事業者は、赤字覚悟ではしてくれません。受益者負担が増えるか、サービスが低下するか、撤退するか、労働者の環境を悪くするか、そのために税金を投入するか...

民営化は税金の使われ方が見えにくくなります。市内駐輪場の有料化がスタート。市民の財産である土地を貸付、営業をする。市民は便利になったでしょうか。(只今、公文書公開中です)

税金は市民のために

国や県からの財源であろうが、税金です。そもそも税金は、市民の困っていることの解決に使い、市民生活がより良いものになつていくよう、市民から預かっているも

お金がない、のではなく、市民のために使ってほしいですね。裏金なんでもっての他です。右表の兵庫県も参考にしてください。(財政力あるし...)

「まちかどカフェトーク」走っていたら、お気軽にお声をかけてくださいね。

一人ひとりが大切にされていると実感できる まちづくり を

議会日程の詳細は市のホームページをご覧ください

12月議会 黒田 一般質問

- 1、部活動の地域クラブへの移行と生徒の居場所
 - 2、「聴こえ8030運動」を進めること
- *いつも、地域の皆さんから聴こえてくる声や願いを政策にして提案しています。議会ホームページで動画配信されます。

総合医療センターで障がい者・児の検査体制の拡充を

学校給食の無償化や食育をしっかり進めてほしい
食べることは生きること活きること

住宅開発が進んでいくけれど、周辺住民との共生第一でお願いしたい

給食の喫食時間短か過ぎだよ
ね(中学校15分)噛んで食べるって大切。工夫してほしい

